

# 平成27年度 決算の概要

平成27年度の決算の概要などについて説明します。

## 組合員数

平成27年度末 組合員数 299,717人

近年、組合員数の減少が続いていましたが、平成27年度末では、前年度末より744人(0.2%)増加しています。

組合員数の推移



## 短期給付事業

全支部で実施

### 医療給付等の決定・支払い

法定給付：医療費、休業給付、災害給付等  
附加給付：家族療養費附加金等

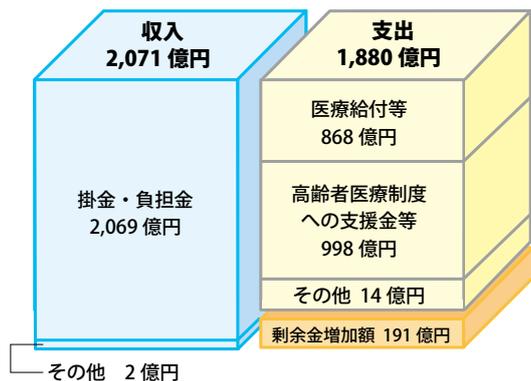
### 高齢者医療制度への支援金等の納付

前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、  
退職者給付拠出金、介護給付費納付金等

掛金及び負担金の収入の増加により、平成27年度は191億円の黒字となりました。

その結果、平成27年度末の剰余金は499億円となりました。  
しかしながら、今後、高齢者医療制度への支援金等の増加が見込まれることから、数年先の状況を見据えて運営していくことが重要となっています。

収支の状況



## 長期給付事業

全支部で実施

### 長期経理 (平成27年4月~9月)

### 年金給付の決定・支払い

退職(共済)年金、障害(共済)年金、遺族(共済)年金等

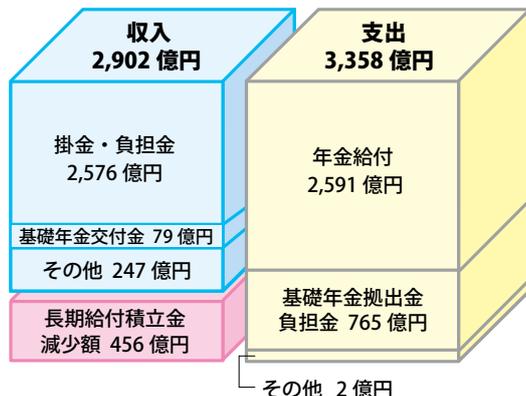
### 基礎年金拠出金の納付

国民年金の基礎年金の給付に要する費用

平成27年4月から9月までは456億円の赤字となり、平成27年9月末の長期給付積立金は、3,744億円となりました。

長期給付積立金は、被用者年金制度の一元化により、平成27年10月から厚生年金保険経理の厚生年金保険給付組合積立金と経過的長期経理の経過的長期給付組合積立金へ承継されました。

収支の状況



## 厚生年金保険経理（平成27年10月～平成28年3月）

### ■厚生年金保険給付の裁定・支払い

老齢厚生年金、退職(共済)年金、  
障害厚生年金、障害(共済)年金、  
遺族厚生年金、遺族(共済)年金等

### ■厚生年金拠出金の納付

厚生年金保険給付に要する費用

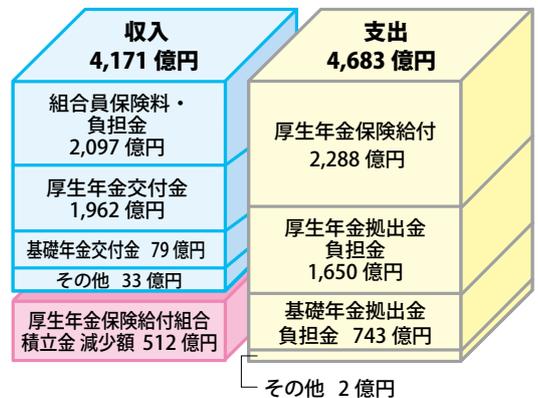
### ■基礎年金拠出金の納付

国民年金の基礎年金の給付に要する費用

当組合は、保険料収入に対する年金給付の支給割合が高く、平成27年10月から平成28年3月までは、512億円の赤字となりました。

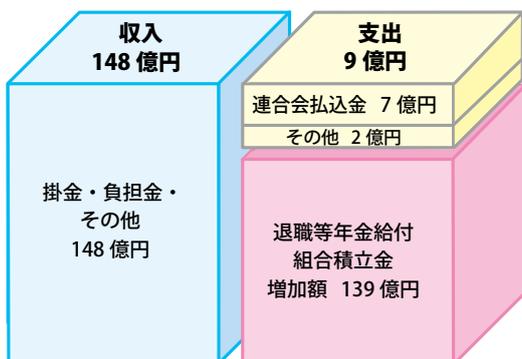
その結果、平成27年度末の厚生年金保険給付組合積立金は、1,577億円となりました。

### 収支の状況



## 退職等年金経理（平成27年10月～平成28年3月）

### 収支の状況



### ■年金払い退職給付の決定・支払い

終身退職年金、  
有期退職年金、  
公務障害年金、  
公務遺族年金等

平成27年10月から平成28年3月までは、年金払い退職給付の支払いがなかったため、139億円の黒字となりました。

その結果、平成27年度末の退職等年金給付組合積立金は、139億円となりました。

## 経過的長期経理（平成27年10月～平成28年3月）

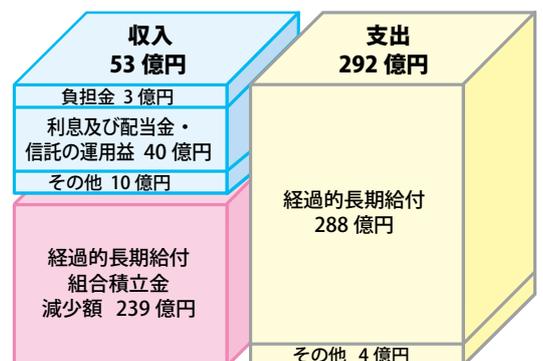
### ■経過的長期給付の決定・支払い

退職(共済)年金、  
障害(共済)年金、  
遺族(共済)年金等

掛金収入がなく負担金収入も少ないため、平成27年10月から平成28年3月までは、239億円の赤字となりました。

その結果、平成27年度末の経過的長期給付組合積立金は、1,417億円となりました。

### 収支の状況

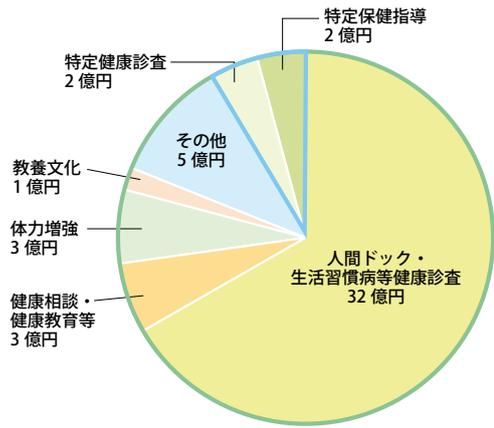


## 保健事業

全支部で実施

- 保健事業（人間ドック・生活習慣病等健康診査等）  
44億1千1百万円（対前年+1億7千3百万円）
- 特定健康診査等事業（特定健康診査・特定保健指導）  
3億6千8百万円（対前年+1千4百万円）
- 保育所事業  
2千2百万円（対前年+24万円）
- 入院医療費支援制度事業  
1千1百万円（対前年+1千万円）

保健事業等の事業費の内訳

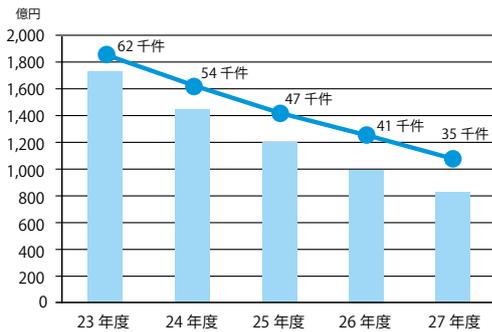


## 貸付事業

全支部で実施

- 貸付の種類 普通・住宅・災害・特別等
- 貸付件数 3万5千件（対前年▲5千6百件）
- 貸付残高 830億4千5百万円  
（対前年▲171億1千7百万円）

貸付件数及び貸付金残高の推移



## 医療事業

21施設で実施

- 診療科目 内科・歯科等
- 利用件数 8万4千件（対前年▲2千1百件）
- 患者収入 15億5千2百万円（対前年+9百万円）

患者収入の推移

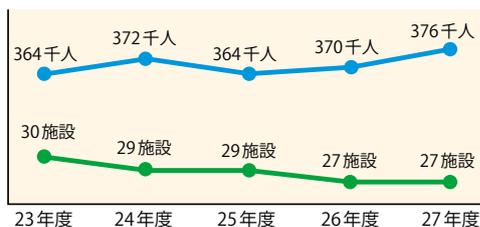


## 宿泊事業

27施設で実施

- 施設の利用状況
- 宿泊 37万6千人（対前年+7千人）
- 会議 51万1千人（対前年+1万2千人）
- 会食 41万人（対前年+5千人）

施設数及び宿泊利用者数の推移



## 物資事業

7支部で実施

- 事業内容 物品の販売、食堂の経営等
- 年間売上高 24億1百万円  
（対前年▲1億3千1百万円）

## 貯金事業

5支部で実施

- 貯金の種類 普通・積立・定期
- 貯金件数 3万1百件（対前年+24件）
- 貯金額 1,259億7千5百万円  
（対前年+8億2百万円）